

## 雄キジと出会うNo.3

2017年6月19日～6月23日

19日16時、オス親を見つける。メス親も居た。ヒナ2羽も確認できた。オス親とヒナのツーショット狙う。① オス親とヒナが撮れた。② ヒナ1羽が親鳥の間に入る、親鳥とのツーショットが撮れた。

上空でカラスの鳴き声がするとメス親は草むらに隠れる。当然、ヒナは固まる。オス親は天空睨む。カラスは天敵になろう。ここまで育つとカラスに襲われる前にヒナは隠れるだろう。

カラスが去るとメス親がヒナに近づく。③ ヒナの1羽がノビをする。翼羽の形はもう一人前に仕上がっている、今日で14日経つ？

その後、ヒナを追ってメス親が空き地の隅に姿を消した。メス親を追ってオス親も消えた。本日は終了だ！撮影を止めようと思う。

16時33分、④ メス親が突然目前に現れた。空き地とは4羽の段差がある。当然、法面を登ってきたのだろう。私が邪魔しなければ、ヒナを呼んだのに、残念！

このあと、私の方が早々に退散する。

キジの親子は早朝から夕方まで空き地を留守にする、日中訪問しても出会いはない。その間どこに出掛けているのかわからない。

20日は会えなかった。21日は降雨のため取りやめる。22日も会えなかった。

23日、細君の用事で近所にお使いを頼まれる、頂いた「わらび」のおすそわけだ。

15時15分、垣根越しに空き地を探すと雄キジを見つける。この時間の訪問は普段はない、お使いしたお蔭だ、ヤッター！

親鳥は端に向かって移動している。⑤ かろうじて親鳥が撮れた。急いでヒナを探す、雑草が伸びて見つけにくい。その間にメス親は法面に降りて見えなくなった。オス親も後を追って消えた。

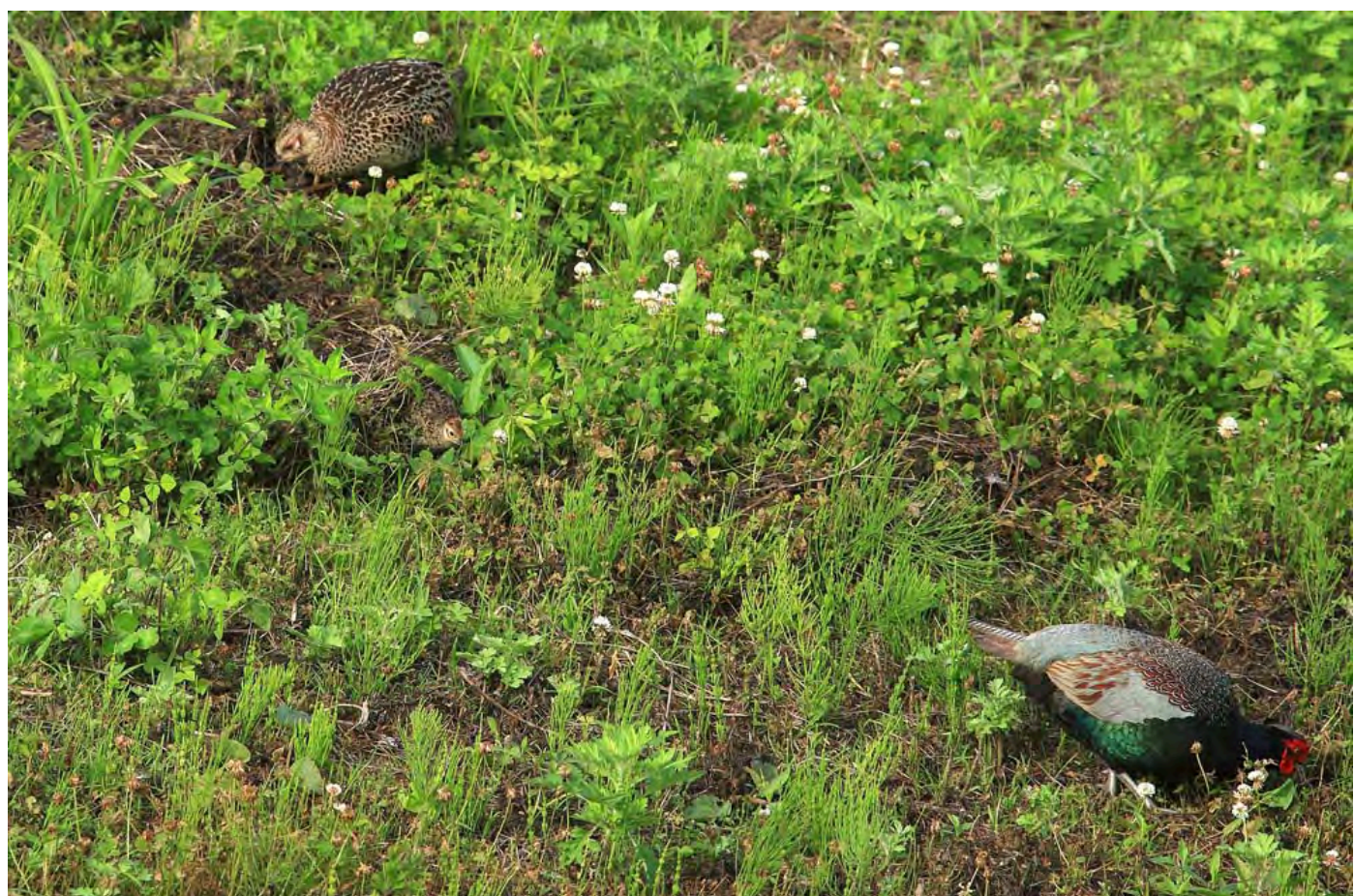
ヒナを確認できなかった、残念！

1時間後、散歩の帰りに空き地に寄る。やはり会えなかった。いつも通りなら今日は会えない日となる、親鳥に会っただけでも「良し」としよう。

もしかして、家族で遠い旅に出た？ 一抹の不安がよぎった！



①



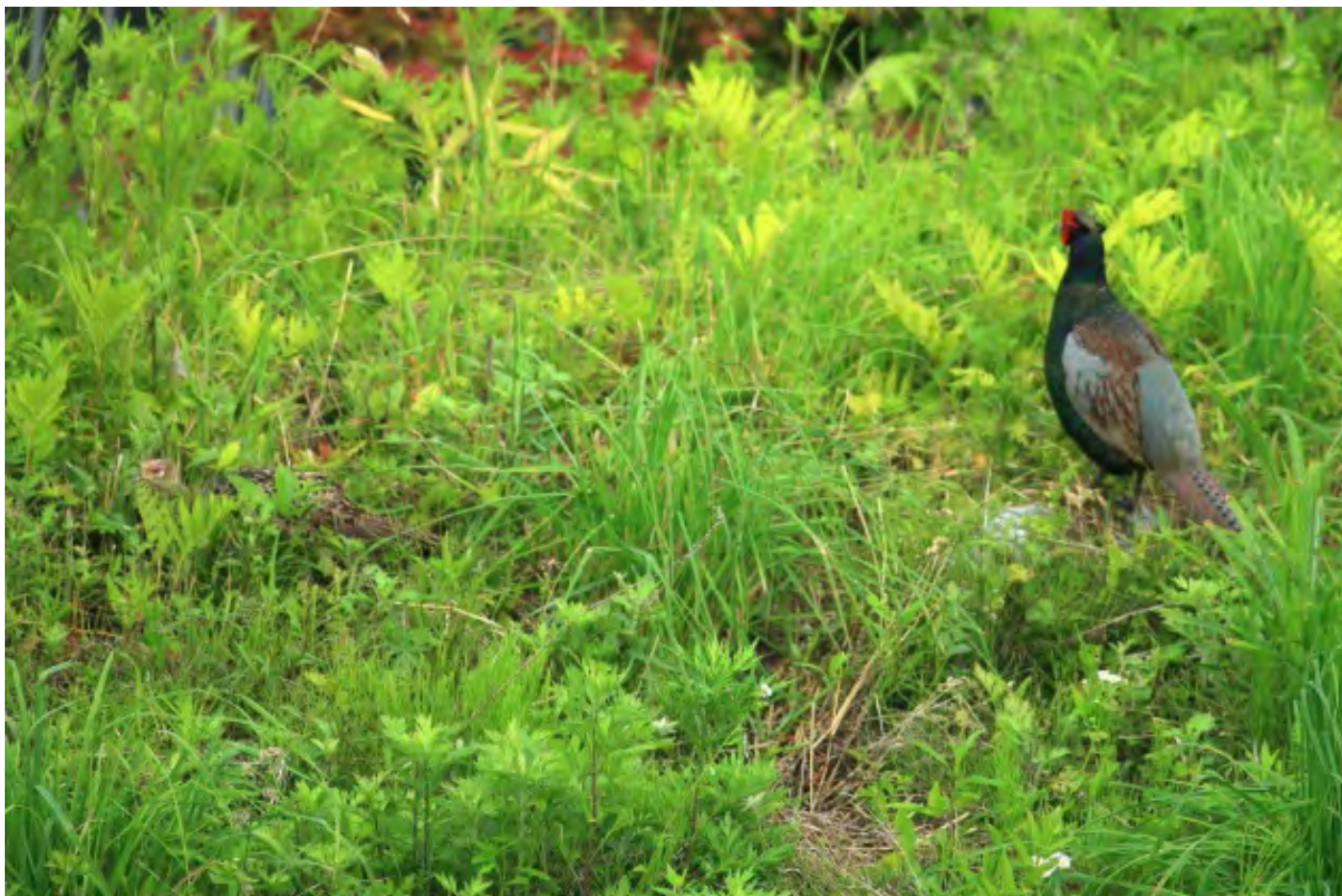
②



③



④



⑤